

図書館カレンダー

10月	15 木	
	16 金	
	17 土	
	18 日	
	19 月	休館 (りづらん・大信)
	20 火	休館 (表郷・東)
	21 水	▷大人向け上映会 『手塚治虫が消えた!? 20世紀最後の怪事件』 りづらん 13:30~14:10
	22 木	
	23 金	
	24 土	
	25 日	
	26 月	休館 (りづらん・大信)
	27 火	休館 (表郷・東)
	28 水	
	29 木	
	30 金	
	31 土	休館 (東)
11月	1 日	
	2 月	休館 (りづらん・大信)
	3 祝	休館 (表郷・東)
	4 水	休館 (全館)
	5 木	休館 (大信)
	6 金	
	7 土	▷大人向け上映会 『立花登青春手控え 第一話「雨上がり」』 りづらん 13:30~14:20
	8 日	休館 (大信)
	9 月	休館 (りづらん・大信)
	10 火	休館 (表郷・東)
	11 水	休館 (表郷)
	12 木	

【各図書館の問い合わせ先／開館時間など】
りづらん ☎③3250／10:00~18:00
 ※土・日・祝日は10:00~17:00開館です。
表郷図書館 ☎③4784／10:00~18:00
大信図書館 ☎④63614／10:00~18:00
東図書館 ☎④1130／10:00~18:00

※最新の情報は、図書館にお問い合わせいただくか、ホームページや館内掲示板をご確認ください。



図書館からのお知らせ

《りづらんの開館時間》

▷平日 午前10時~午後6時
 ▷土曜日・日曜日・祝日 午前10時~午後5時
●エントランスの開館時間
 ▷平日 午前9時~午後9時
 ▷土曜日・日曜日・祝日 午前9時~午後9時

《大人向け上映会》

新型コロナウイルス感染症防止対策として、人数を制限して上映します。マスクを着用のうえ、ご覧ください。
●人数 各回先着25人

《「だれでもブックデザイナー」の展示》

皆さんから応募された、ブックカバー用に描かれたオリジナルの絵やイラストを展示します。

●展示場所
 りづらんホームページ [りづらん ブックカバー](#)
 りづらん地域交流エリア エントランスギャラリー
●展示期間 10月8日(木)~11月9日(月)
 ※作品は、11月26日(木)から順次返却する予定です。



今月のテーマ展示

大人向け
収穫！おいしい本

実りの季節が到来しました！
 おいしい料理や食材の本を、図書館で「収穫」してみませんか？
 食をテーマにした小説など、味覚を刺激する本をご紹介します。

子ども向け
いろいろな秋

秋になったら何をしよう？
 スポーツや芸術を楽しんでみたり、おいしいものを食べたり…
 そして、長い夜には読書！
 秋にオススメの本を紹介します。

※ホームページでもオススメの本を紹介しています。

おすすめ新刊

《一般図書》

 レンズくんが行く工場ツアー「すごい！品質検査」
 うえたに夫婦
 鉛筆からデジカメまで、10個の製品の品質検査を、マンガと図で分かりやすく紹介しています。
 日本のものづくりのすごさと、品質の高さに改めて気付かされる一冊です。

《児童図書》

 南極のさかな大図鑑
 岩見 哲夫／文 廣野 研一／絵
 マイナス2度近くにもなる南極の海。その冷たい世界で生きる魚たちは、どんな姿をしているのでしょうか？
 色は地味だけど、おもしろい魚をいっぱい紹介しています。

小峰城よもやま話

第七話
 丹羽長重
 一石二鳥の大事

白河の中心市街地では、小峰城の石垣はもちろん、まちなかを走る旧奥州街道や短冊型の地割など、今でも城下町の名残を見ることが出来ます。

現在まで続く城下の基礎を築いたのが、初代白河藩主・丹羽長重です。
 長重は、石垣を多用した城へと小峰城を改修しましたが、ほかにも多くの整備を行いました。大きな整備のひとつが阿武隈川の付け替えです。長重は、小峰城の北西を蛇行しながら流れていた川を北側に付け替えました。なぜ長重はこのような大規模な工事を行ったのでしょうか。

新たに利用できるようになった土地に武家屋敷を整備し、屋敷地不足も解消しようとした。この新しい町には、改易された会津領主蒲生家の元家臣から取り立てた者を多く住ませたことから「会津町」の名がついたと言われています。
 長重は、藩主になってすぐにこの工事に着手しています。立藩直後に生じていた課題を一度に解決できる一石二鳥の取り組みだったからこそ、はじめにこの事業を行ったのではないのでしょうか。



▲奥州白河城絵図(部分)(国立公文書館蔵)

一方で、小峰城が白河藩主の居城となったために生じた屋敷地不足も課題になっていったと考えられます。大名は、その石高に見合った武士を召し抱える必要がありました。改修前には、石高10万石に必要な家臣を住まわせるだけの敷地がなかったと考えられます。
 長重は、川の付け替えにより、

※9月号13ページ・小峰城よもやま話に誤りがありましたので、おわびして訂正します。
 (誤)160011624
 (正)160011627

白河、あの頃と今

今月のテーマ「白河バラ園」

Vol.2



市内の様子や行事などを写した古写真の中から、テーマに沿った1枚を紹介し、現在の様子と比較します。タイムスリップ気分を味わいながら、白河の魅力を再発見しませんか？
 ●本庁舎秘書広報課 内2171

【昭和35年~38年の様子】



昭和35年6月、小峰城の敷地内にバラ園が開園しました。植えられて間もないバラたちの様子から、この写真が開園当時頃に撮られたものと推測できます。お城の石垣とバラの花。珍しい組み合わせです。

【現在の様子】

バラ園は閉園し、現在は小峰城が整備中のため、跡地には入れません。植えられていたバラたちはどこへ。



子ども広場の階段を登ると…



9月中旬撮影

実は、一部がコミネスの敷地内に移植されています。秋はバラがきれいな季節です。ぜひ一度ご覧ください。